

Greddy AERO KIT

(グレッディ エアロ キット)

取扱説明書

【トヨタ 86(ZN6) フロントスカート】

(`16.08 ~)

この度は、**Greddy** AERO KITをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
この取扱説明書をよく読んで末長くご愛用下さる様お願い致します。

取扱説明書について

重要 必ずお読みください。

- ◎ 本書は車輛に装着する際と、使用する際の注意事項が詳しく説明してあります。
必ずお読みになって正しくお使いください。
- ◎ 本書は、ノーマル車輛を基準に作成しています。
- ◎ 本書は、製品をご使用中は、大切に保管してください。
- ◎ 本書では、下記に示す表記を用いています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをされると、生命への危機または重症を負う
可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをされると、人が重傷を負う可能性が想定
される内容及び物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

装着の前に

重要 必ずお読みください。

- ◎ この製品は、構造基準適合部品です。
 - この製品は、固定的取付けを行う一定範囲内指定部品に該当する為、記載事項の変更等は必要ありません。
 - 取付け車輛の車高を極端に下げますと検査不合格となる場合があります。
- ◎ 製品の装着及び塗装は、必ず専門ショップで行ってください。
 - 製品の装着・塗装は、専門知識と加工技術及び特殊工具が必要です。
- ◎ 製品を装着する際、製品・ボディー加工が必要な車輛があります。
 - 加工の際は、取扱説明書の指示に従い安全に行ってください。
- ◎ 製品を装着する前に以下に示す車輛の点検整備を必ず行ってください。
 - 装着車輛が適合車であるかどうかの確認を行ってください。
 - 装着車輛が事故車であった場合、修理方法によってボディー寸法に狂いが生じ、スポイラー取付けが困難な場合があります。あらかじめ、修理後の確認を行ってください。
- ◎ 製品装着前に、必ずパーツリストによりパーツ内容を確認してください。
- ◎ この製品を装着する際、製品以外の部品は使用しないでください。
 - この取扱説明書にあるパーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合、事故、破損等については、当社は一切責任を負いません。
- ◎ この製品装着後、炎天下での駐車等で製品表面温度が40度以上となる場合、製品の材質と製造上の理由により、製品表面に気泡、歪みが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 塗装後の商品クレームは一切受けられませんので十分な確認を行ってください。

装着時の注意

⚠警告 作業は、メーカーの発行する整備手順要領を基本に行ってください。

⚠注意 ● 保護メガネ・マスクを着用してください。
● 塗装面の加工箇所は、錆防止の為必ずペイントで補修してください。

⚠注意 製品の塗装終了後の本取付けの際には必ず取付けネジに緩み防止剤を塗布した上で本締めを行ってください。

トヨタ 86 用 フロントスカート取付け要領書

この商品はトヨタ 86 ZN6 MC 後（'16.08 ～）専用です。取付け前に車面と商品の確認を行ってください。

※下記 注 1～注 6 をよく読んでから作業を行ってください。

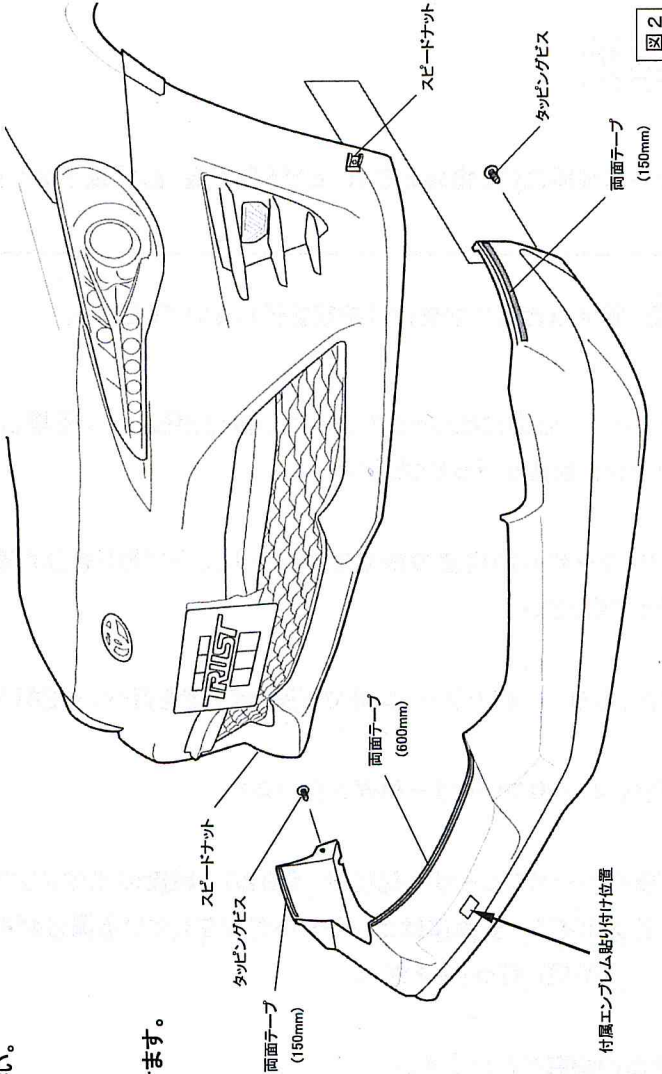
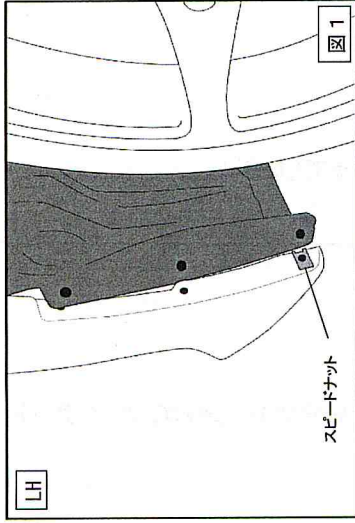
■ パーツリスト

フロントスカート本体	x 1
タッピングビス (M5 x 20)	x 2
スピードナット (M5)	x 2
両面テープ (1000mm)	x 1
エンブレム 小	x 1

■ 取付手順

- 1) 図2を参考に、付属の両面テープをフロントスカート内側に貼り付けます。
※貼り付け面は#320程度の紙ヤスリを使用して、十分にサンディング、脱脂を行ってください。
- 2) 図1を参照して、インナーフェンダー取り付けのクリップ3個を取り外し、インナーフェンダーをめぐって、バンパー最下部のクリップ穴に、スピードナットを差し込みます。
- 3) 2)で取り外した3個のインナーフェンダーのクリップのうち、上側2個を取り付けます。
- 4) 図2を参照して、製品を車面に取り付け、付属の両面テープ、タッピングビスを使用して固定します。
※純正バンパーの両面テープ貼り付け面は十分に脱脂を行ってください。
以上で作業は終了です。

- ※1：製品は塗装前に必ず仮取り付けを行い、フィッティングを確認してください。
- ※2：塗装後の本取り付けの際には製品付属の両面テープを使用してスパイラーをバンパーにしっかりと固定してください。
- ※3：製品表面にはワックスが付いていますので脱脂後、十分にサンディングを行ってからプライマー・サフェーサー処理、塗装を行ってください。
- ※4：製品は柔軟性が有る為、塗装前に必ずプライマー処理を行ってください。
- ※5：製品表面に細かい気泡・キズ等があった場合、サフェーサー処理後、ポリパテ等で補修してください。
- ※6：塗装乾燥時には変形の恐れがあるため40℃以上での強制乾燥は行わないでください。



塗装要領

スポイラー塗装時には、塗装の割れ、ヒビを防ぐ為、必ず以下の手順を守ってください。

重要 製品は絶対に焼き付け塗装を行わないでください。

1. スポイラー表面にはワックス、シリコン成分が残っている場合がありますので、シリコンオフ・アセトン等で十分に脱脂を行ってください。
2. #240～#400程度の紙ヤスリを使用し、キズ取りを含め表面をしっかりとサンディングして脚付けを行ってください。
3. 再度、シリコンオフ・アセトン等で脱脂・乾拭きを行ってください。
4. プライマー・サフェーサー処理を行います。
5. プライマー・サフェーサー処理後、#320～程度の紙ヤスリで再度サンディングを行います。
※ スポイラー表面にはピンホールが発生している場合がありますが、その場合はポリパテ等で穴埋め処理を行ってください。
6. 表面の塗装を行います。
7. 塗装後、自然乾燥させて終了です。
※ 乾燥させる際には、焼き付け乾燥炉、乾燥用ランプ、ジェットヒーター等、表面温度が40℃以上になるような強制乾燥は絶対に行わないで下さい。強制乾燥を行いますと、スポイラーのたるみ、歪み等の変形が発生する場合があります。又、この場合はクレームの対象外となりますので十分注意してください。